



徐々にではありますが、コロナ禍においても日常を取り戻し始め、年末年始にクリスマスや忘年会、新年会などでお酒を飲む機会も増えるかもしれませんね。

そんな時気を付けたいのが、駅のホームでの落とし物。また、うっかりとお酒に酔った勢いでホームから転落、なんて事態もあるかもしれません。

ここで、対処方法について確認しておきましょう。

線路に物を落としてしまった時の対処方法とは？

**➡線路に物を落としたら、すぐに駅係員に伝える。
絶対に線路へ降りないこと。**



■ 駅係員に状況を伝える

➡駅のホームにも表示がある通り、線路内に物を落としたら、すぐに駅係員に伝えましょう。落下物を拾いあげる器具などが駅には常備されているので、駅係員に早めに伝えて、安全を確認して拾ってもらいます。落下物を拾いあげる作業は、駅係員が熟練しています。ホームには、駅係員を呼び出すためのボタンが設置された駅もあります。慌てず早めに伝えましょう。

■ 線路には絶対に降りない

➡携帯電話や財布など大切なものを落としても、絶対に自らが線路に降りて拾ってははいけません。また、**人が誤って転落したなど人命にかかわること以外で、ホームにある非常列車停止装置（ボタン）を押してはいけません。**列車が緊急停止することで、多くの人が迷惑をこうむり、鉄道会社に多大な損害を与えます。その結果、自らが罰せられたり、鉄道会社から多額の損害賠償請求を受けることにもなります。自分の過失で物を落としたのですから、まずは落ち着いて駅係員に伝えるようにしましょう。また、線路に物を落とさないためにも、ホームではむやみに線路に近づかず、指定の場所で電車が来るのを待つようにしましょう。最近では、ホームドアと呼ばれる転落や列車との接触事故防止のドアが設置されているホームが増えてきていますが、線路付近は大変危険ですので注意しましょう。

落とし物は、携帯電話や財布、パスケース、靴、紙類などが多い。



★マジックハンド（安全拾得器）
・線路に落とした物をホームから拾い上げる道具。ホームの柱に常設されていることが多い。

駅のホームから落ちたらどうする？～やってはいけない行動～



◆自分が落ちたとき👉自分が線路に転落した時にやることは2つ。

① 退避場所を探す

・ホームの下には落下した時に一時避難するスペースが用意されていますので、まずは電車が来たとしても自分の身の安全を確保することを最優先にしましょう。

② 助けを求める

・線路に落ちてしまった時には無闇に動くとは危険な事故に繋がりがかねません。ホーム上にいる人に自分が線路に落ちたことを知らせて、助けを求めることが重要です。ホーム上にいる人に非常停止ボタンを押してもらえれば、電車が接近する危険を回避することができます。転落した時のために、ホームに上るステップがある駅もありますが、自分が動いても安全な状況を作ってから上るようにしましょう。

◆誰かが落ちたとき

誰かが線路に落ちた時には、**まず非常停止ボタンを押してください。** ボタンを押したら大きな音も鳴って大騒ぎになるから気軽に押しはいけないのでは、と思ってしまうかもしれませんが、そんなことはありません。非常停止ボタンは駅員が駆けつける前に事故を防ぐために設置されたもの。いたずらや悪ふざけでなければ、躊躇することなくボタンを押すようにしましょう。ボタンを押せば駅員が駆けつけてくれるので以降の対応は任せてしまって大丈夫です。



助けるために線路に降りるのは危険



人が線路に落下した時に「助けなくては！」と行って線路に降りて救出したというニュースを聞くことがあります。人を助けるのは素晴らしいことですが、実はとても危険な行為で、鉄道会社は推奨していません。二次被害に繋がってしまう恐れがあるため、実際に救出のために線路に降りた人が犠牲になる事故も起こっています。助けようと線路に降りても、人をホームに引き上げるのは簡単なことではありません。落下した人の身の安全を守るために、電車を緊急停止させる程度に留めておくのが賢明です。

ホームから転落してしまう原因は？

ホームから転落する事故がもっとも多い時間帯は終電近く、つまり酒に酔った人が起こしてしまう割合が高くなっています。おぼつかない足取りでホームの端を歩いたり、椅子から立ち上がってふらふらと歩いていたらホームから落ちてしまう、といったパターンが多くなっているようです。さらに、本人が冷静な判断を取れない状態のため、落下したあとに冷静な判断がとれずに死亡事故に繋がってしまうケースも後を絶ちません。

また、最近はスマホを操作しながらの「ながら歩き」も危険視されています。音楽やゲームに夢中になっていて、ホームの端からうっかり足を踏み外してしまうということも。転落してしまうだけでなく、ホーム上で他人とのトラブルにもなるので、「ながら歩き」は控えるようにしましょう。



弊社は損害保険会社8社、生命保険会社8社、少額短期保険会社1社を取扱い、お客様の企業経営から個人のライフプランまで総合的なリスクマネジメントをご提案いたします。

現在弊社以外でご契約の保険の証券診断も承りますので、お気軽にご相談ください！

弊社では、募集品質の改善・向上への取り組みの一環として、お客様から忌憚ないご意見やご感想を伺っております。是非ともご協力ください！

“お客様アンケートのサイト”
<https://forms.gle/EXCkVdfkxmLLni7u7>



◆弊社ホームページで「TOKYO CENTRAL NEWS」のバックナンバーを掲載しておりますので、是非ともご参照ください。